

コックピットから...

～ 2年前のオーストラリア大会より ～



世界最大のワールド・ソーラーカー・チャレンジ（WSC）は2年に1度行われ、玉川大学は1999年に初出場を果たしました。

この大会では1人、3～5時間という長い時間運転をしますが、ドライバーにとってはアツという間です。地平線の先まで続く緩やかなカーブ。周囲は、火山の赤土と乾燥した樹木などで他に立ちはだかる物は何1つありません。状況に問題がなければ急な坂を一気にスピードを出して下ることもあります。前回の大会で最高速度が、112kmを記録しました。

国内の大会とは違いWSC大会のコースは大型トラックや自家用車も走る自動車専用の道路を走ります。ですから、エネルギーを無駄に使わずにすむかを考えると同時に、事故に遭わない運転技術をも身に付けておかなければなりません。

今年は2人乗りから1人乗りになったため無線での交信もなく、1人でのマネジメントになりますが、本番に強い玉川精神で切抜けてほしいですね。